

海岸事業の再評価項目調書

事業名（箇所名）	皆生海岸 直轄海岸保全施設整備事業					
実施箇所	鳥取県米子市皆生から境港市					
該当基準	再評価実施後一定期間（3年）が経過している事業					
事業諸元	<ul style="list-style-type: none"> ・緩傾斜護岸 L=720m ・離岸堤 15基 ・施設改良 5基 ・人工リーフ 8基 等 					
事業期間	昭和 35 年度～					
総事業費(億円)	282	残事業費(億円)	91			
目的・必要性	<p>皆生海岸は、白砂青松の景勝地であり、皆生温泉を中心に住民や観光等の憩いの場となっている。また、境港に代表されるように沿岸漁業の場としても重要な海域である。</p> <p>しかし、日野川上流域でのかな流しの終焉により大正末期からこの海岸への供給土量が著しく減少したため、現在の土砂供給で汀線を維持するのは困難となった。これに対応するため、離岸堤、護岸、人工リーフ等の海岸保全施設による海岸侵食対策を実施している。</p> <p>近年では、離岸堤による海岸眺望の阻害やその沖合側に生じる侵食等が生じており、長期的な視点にたった土砂動態メカニズムを考慮した対策が必要となってきている。</p> <p>このため、海岸保全施設整備事業（皆生海岸）では、皆生海岸の土砂動態特性を考慮した海岸保全構造物のみに頼らない海岸整備を実施する。</p>					
便益の主な根拠	<ul style="list-style-type: none"> ・侵食防止面積：1.09km² ・浸水防護面積：3.70km² ・浸水防護世帯数：4,935 世帯 ・侵食防止に係る想定年平均被害軽減期待額：504 百万円／年 ・浸水防護に係る想定年平均被害軽減期待額：30,454 百万円／年 ・侵食防止便益：62 億円（B1） ・浸水防護便益：3,778 億円（B2） ・総便益＝3,840 億円（B） 					
事業全体の投資効率性	B:総便益 (億円)	C:総費用 (億円)	B/C	B-C	EIRR	基準年度
全事業	3,840	811	4.7	3,029	6.6	平成 23 年度
残事業	93	73	1.3	20	5.5	平成 23 年度
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・白砂青松 100 選、日本の渚 100 選、日本の水浴場 88 選に選ばれ、海岸保全の要望は高い。また、砂浜復元による海岸利用客が増加している。 ・既存の皆生地区の離岸堤は沖合侵食による離岸堤法先部の洗掘・沈下が生じ、将来的に施設機能の低下・保全対象の被災が懸念されており、人工リーフへの施設改良により機能の回復による背後地の保全及び景観を回復する。 					
社会情勢等の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・米子市の世帯数は増加しているが人口は横ばい状態である。特に背後地の両三柳地区、河崎地区では住宅化が進んでいる。 ・また、皆生海岸の海水浴利用者は、年間約 5 万人が利用しており、近年増加傾向にある。 <p>【米子市】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○人口：0.99 倍（148,090 人/149,584 人）＜H22 国勢調査／H17 国勢調査＞ ○世帯数：1.03 倍（57,565 世帯/55,499 世帯）＜H22 国勢調査／H17 国勢調査＞ ○皆生海水浴入込客数：1.05 倍（58,000 人/55,000 人）＜H22／H20：米子市観光課＞ 					

事業名（箇所名）	皆生海岸 直轄海岸保全施設整備事業												
事業の進捗状況	<p>・全体事業費約 282 億円、平成 23 年度までの事業費約 191 億円（進捗率 68%）</p> <table border="0"> <tr> <td>緩傾斜護岸</td> <td>全体 720m のうち 720m</td> <td>進捗率 100%</td> </tr> <tr> <td>離岸堤</td> <td>全体 15 基のうち 15 基</td> <td>進捗率 100%</td> </tr> <tr> <td>施設改良</td> <td>全体 5 基のうち 2 基</td> <td>進捗率 40%</td> </tr> <tr> <td>人工リーフ</td> <td>全体 8 基のうち 4 基</td> <td>進捗率 50%</td> </tr> </table>	緩傾斜護岸	全体 720m のうち 720m	進捗率 100%	離岸堤	全体 15 基のうち 15 基	進捗率 100%	施設改良	全体 5 基のうち 2 基	進捗率 40%	人工リーフ	全体 8 基のうち 4 基	進捗率 50%
緩傾斜護岸	全体 720m のうち 720m	進捗率 100%											
離岸堤	全体 15 基のうち 15 基	進捗率 100%											
施設改良	全体 5 基のうち 2 基	進捗率 40%											
人工リーフ	全体 8 基のうち 4 基	進捗率 50%											
事業の進捗の見込み	<p>・現在までの進捗率は約 68%であり、これまでの整備により砂浜が復元され、侵食・浸水被害の防止、観光地域の活性化等の効果が得られている。今後も、地域からの侵食対策、景観改善の要望が強いことから、関係機関並びに地元と合意形成を図りながら、引き続き事業を実施していく。</p>												
コスト削減や代替案立案等の可能性	<p>・沖合侵食の進む海岸利用客が多い皆生地区では景観に配慮した施設への要望が強い。また、両三柳地区、富益地区では、依然厳しい自然条件下におかれ侵食が進んでいる地区であり、施設整備の要望は強い。</p> <p>・皆生地区の既存離岸堤の一部を、両三柳地区、富益地区の人工リーフの材料に活用、他事業との連携によるサンドリサイクル等コスト削減に努める。</p>												
対応方針（原案）	継続												
対応方針理由	<p>・皆生海岸の海岸保全の必要性、費用対効果、事業の進捗状況から事業継続が妥当である。</p> <p>・今後の事業の実施にあたっては、地域と連携を深め、施設整備や維持管理に要する費用について更なるコスト削減に努力しつつ、効率的で効果的な事業を継続する。</p>												
その他	-												

皆生海岸 直轄海岸保全施設整備事業 事業再評価



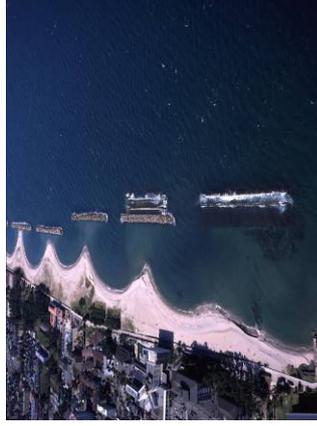
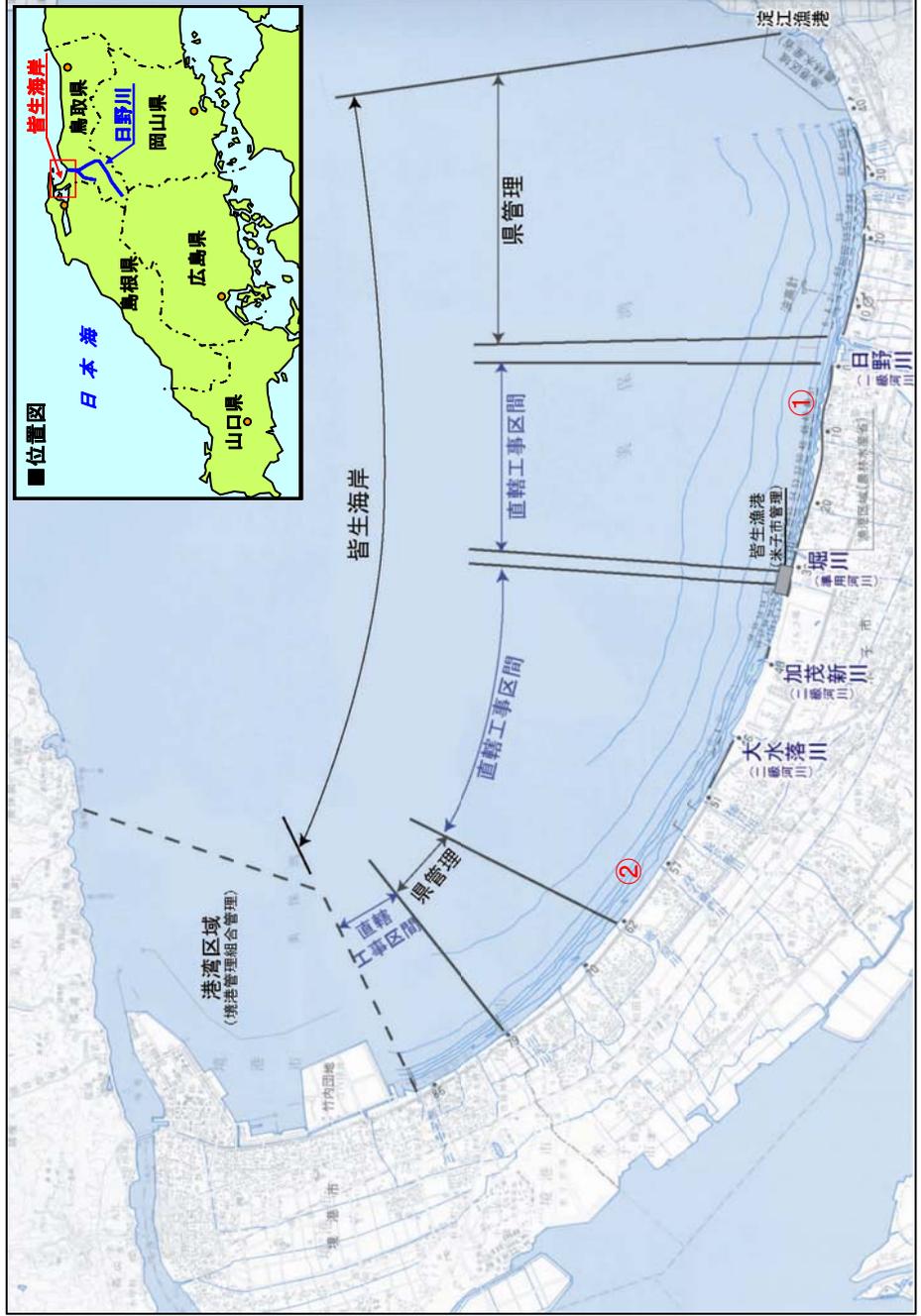
平成23年9月

国土交通省 中国地方整備局

◆皆生海岸の概要

1. 皆生海岸の概要

- 皆生海岸は、鳥取県西部に位置する弓浜半島の美保湾に面する海岸全体の総称であり、東は淀江漁港から日野川の河口を含み、西は境港までの約16kmの範囲である。
- 直轄工事区間は、皆生地区～境港地区にかけたの延長10.22kmであり、離岸堤をはじめとした侵食対策工事を進めている。



①皆生地区の離岸堤・人工リーフ



②富益地区の人工リーフ

◆皆生海岸の概要

2. 弓浜半島の生い立ち①

【縄文早期：8000年前】

日野川から砂礫供給が増加し、河口付近に三角州扇状地が張り出し、同時に米子市街東方の岬を足がかりにして、砂礫が西西北西方向に伸長。

【縄文前期：6000年前】

さらに、沿岸流によって沿岸州（内浜）が形成され、砂丘が発達。

【弥生～古墳期：

2500年～1500年前】

内浜の南部から削り取られた漂砂が沿岸流に運ばれて再堆積し、中浜が成長。その後、海水面の下降などによって砂丘が発達。

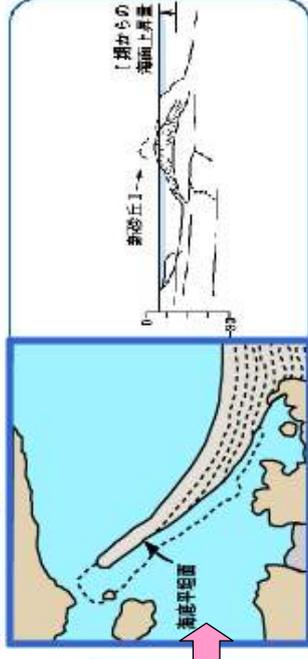
【歴史時代：1500年前～】

外浜は日野川からの流送土砂の増大を契機として成長。奈良時代以降の日野川上流でのかな流によって多量の砂が流送されて外浜がさらに成長。

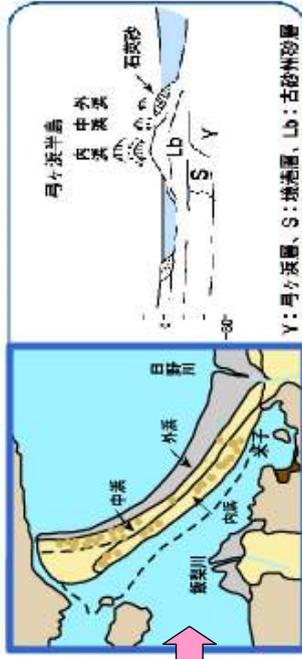
【大正時代以降】

温泉の湧出・開発によって外浜は市街化。大正末期のかな流の衰退により日野川からの供給土砂量が減少し、東側より侵食が開始。

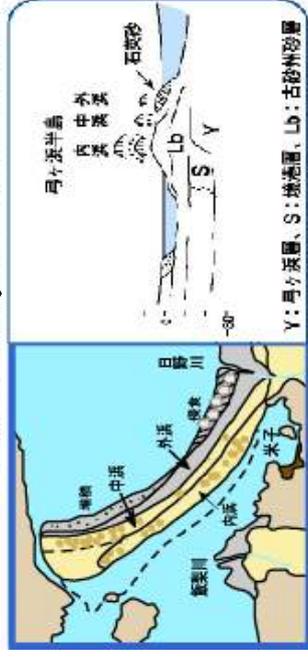
Ⅱ縄文前期



Ⅳ歴史時代



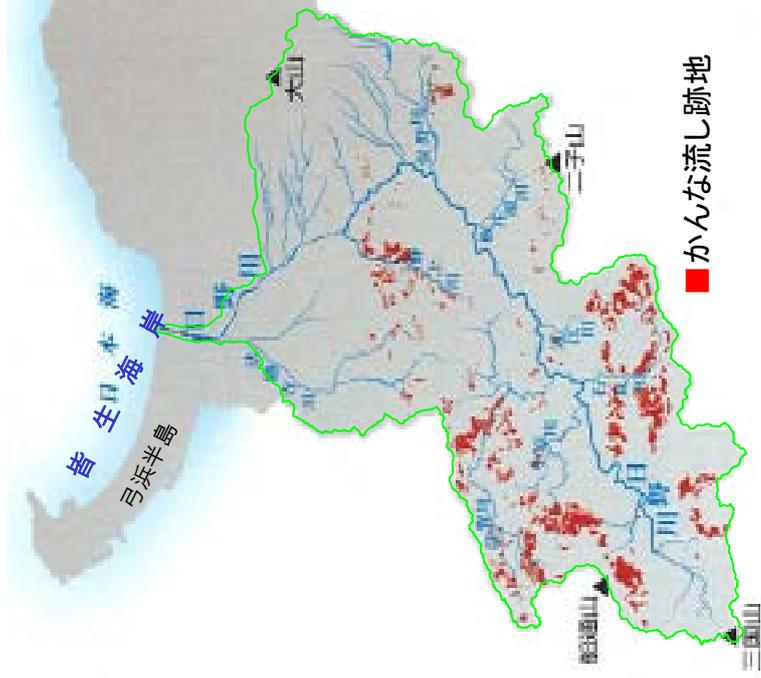
Ⅴ大正時代以降



◆皆生海岸の概要

2. 弓浜半島の生い立ち②

■ 江戸期から「たたら製鉄」の「かんな流し」が盛んに行われ、大量の土砂が下流に流された。



日野川上流域のかんな流し跡地



かんな流しの廃土流出



樹木伐採等による土地荒廃



地山の掘削状況

◆皆生海岸の概要

3. 皆生海岸の利用状況

- 皆生海岸は、白砂青松100選、日本の渚100選、日本の朝日100選、日本の朝日100選、都市景観100選、日本の水浴場88選に選ばれており、海水浴、散策等に利用されており、多くの人に親しまれている。
- また、例年、7月には皆生トライアスロン、花火大会等が開催され、皆生海岸に隣接する皆生温泉には、年間45万人の観光客が訪れており、地域の活性化に繋がっている。



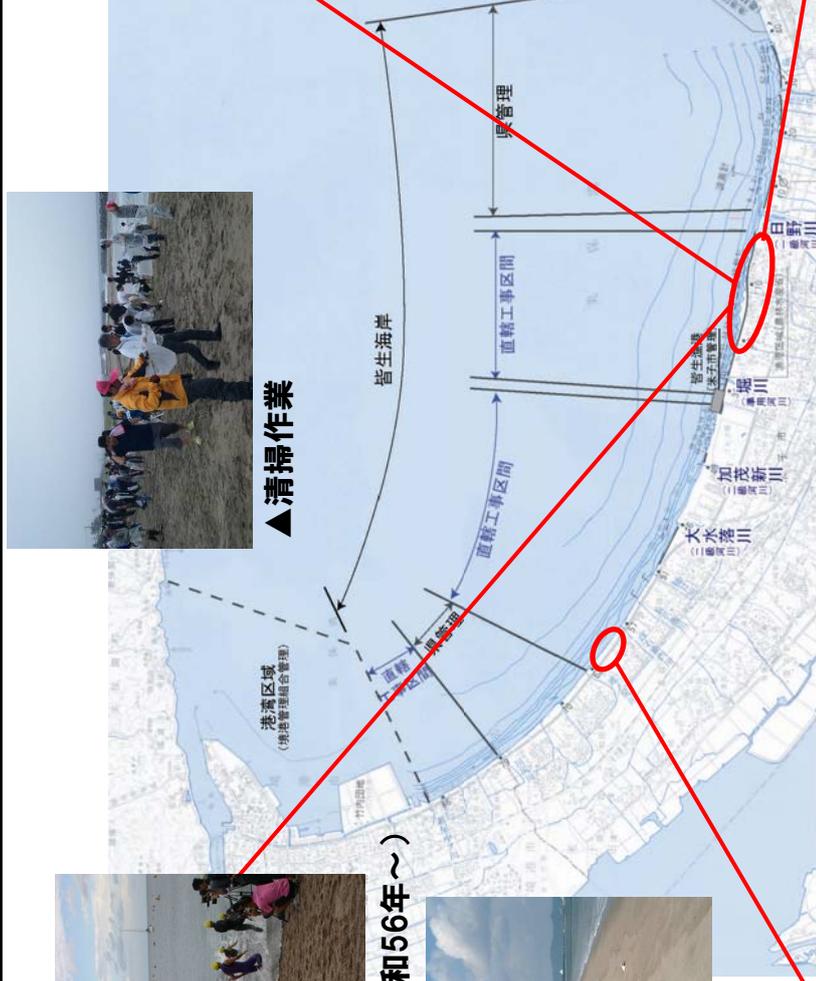
▲皆生トライアスロン(昭和56年～)



▲清掃作業



▲皆生温泉



▲白砂青松100選

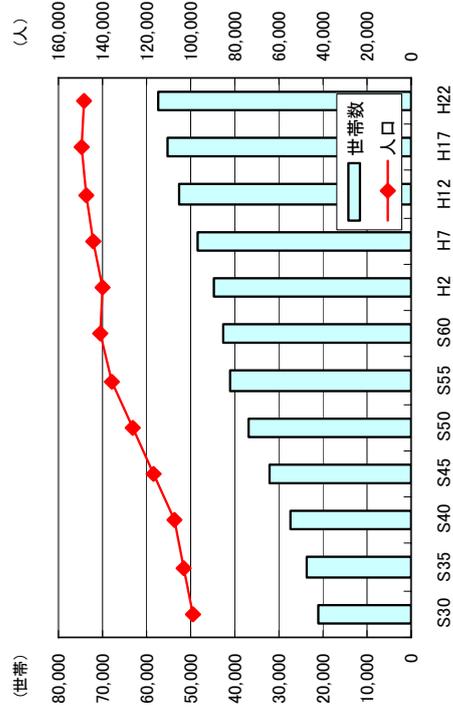


▲海水浴

◆皆生海岸の概要

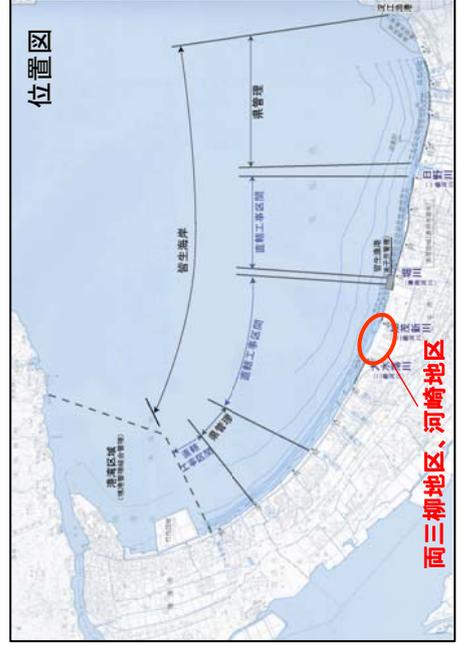
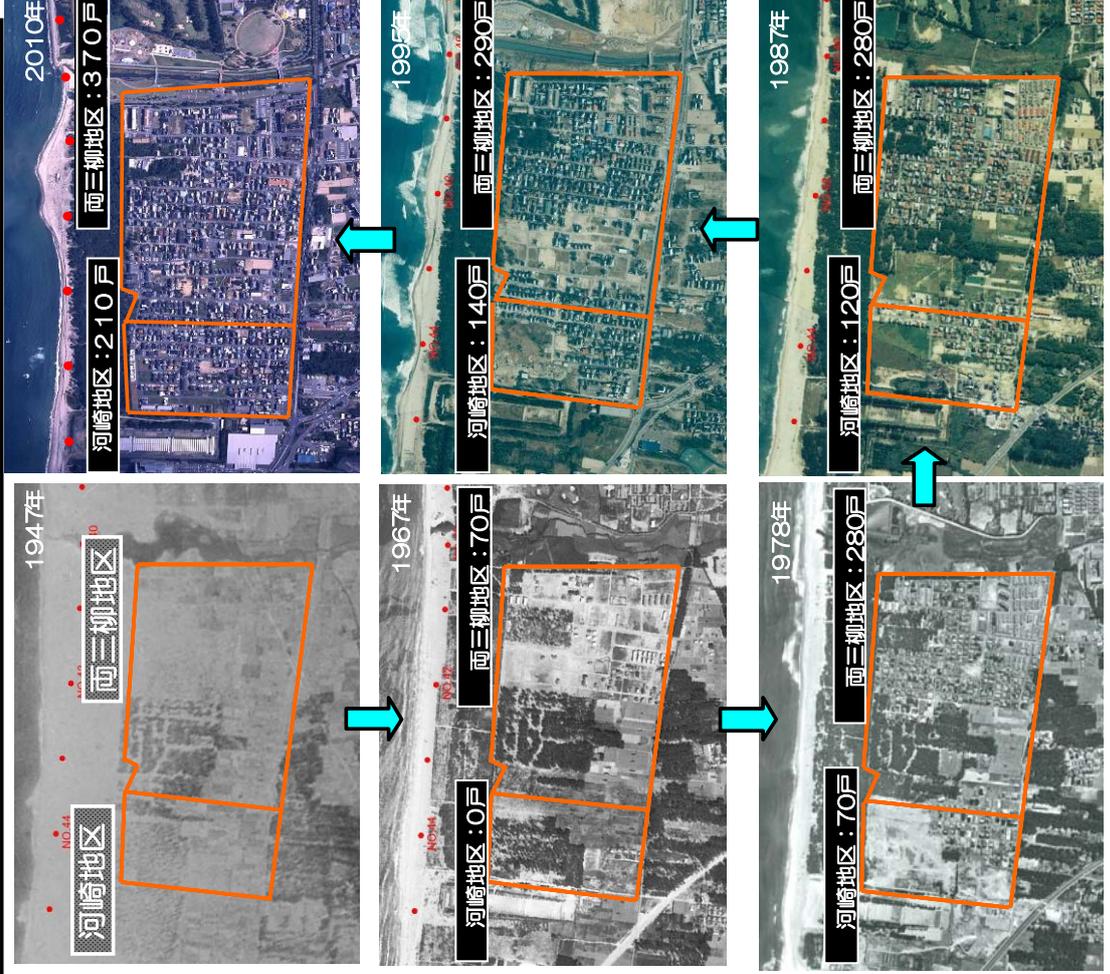
4. 社会環境

■ 米子市の世帯数は増加しているが、人口は横ばい状態である。特に両三柳地区、河崎地区では宅地化が進んでいる。



米子市人口・世帯数の変化

※参考「国勢調査」

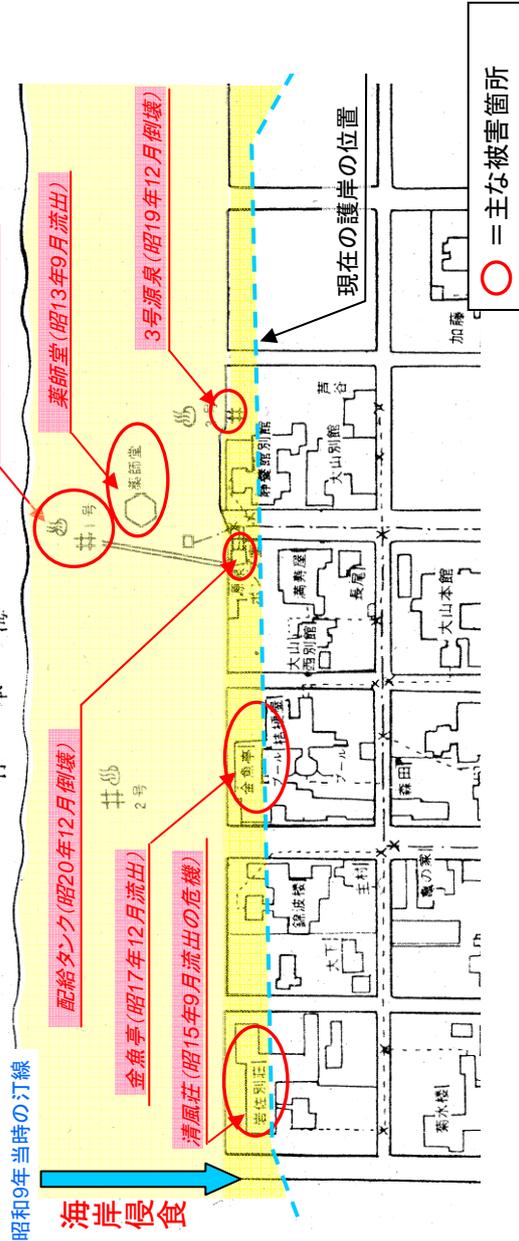


◆皆生海岸の概要

5. 主要な災害の状況

■山陰地方最大級の温泉地「皆生温泉」が、侵食により壊滅的被害を受けた。

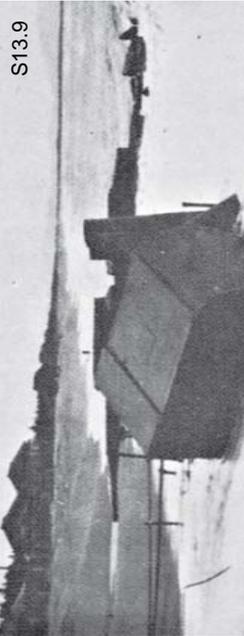
皆生温泉市街図(昭和9年当時)



砂浜にあった「1号源泉」が侵食により水没、倒壊



砂浜にあった「葉師堂」が水没、倒壊



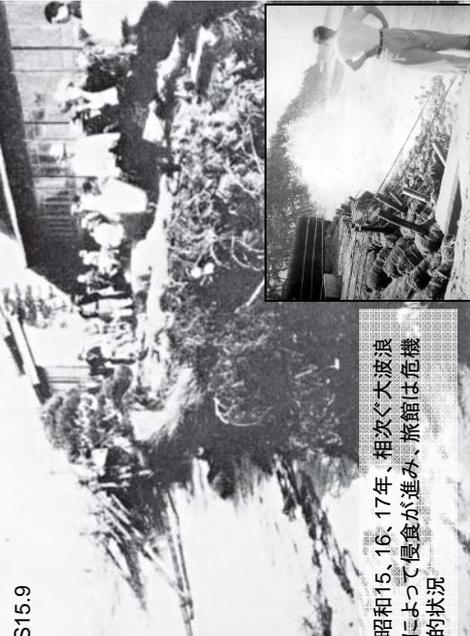
皆生温泉街に迫る危機



侵食が進み、ついには流失した旅館「金魚亭」



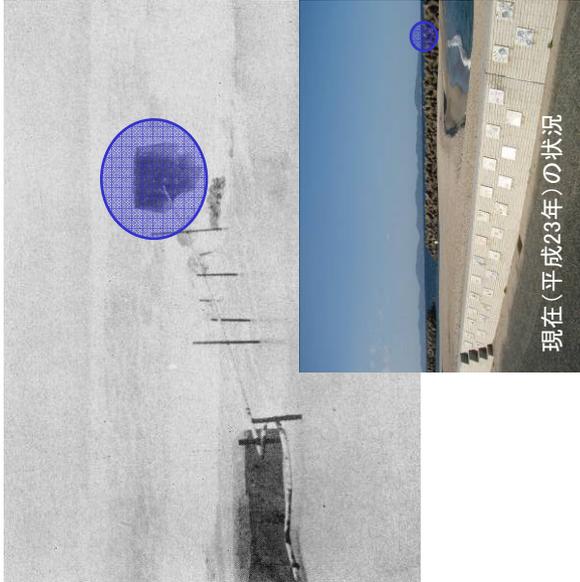
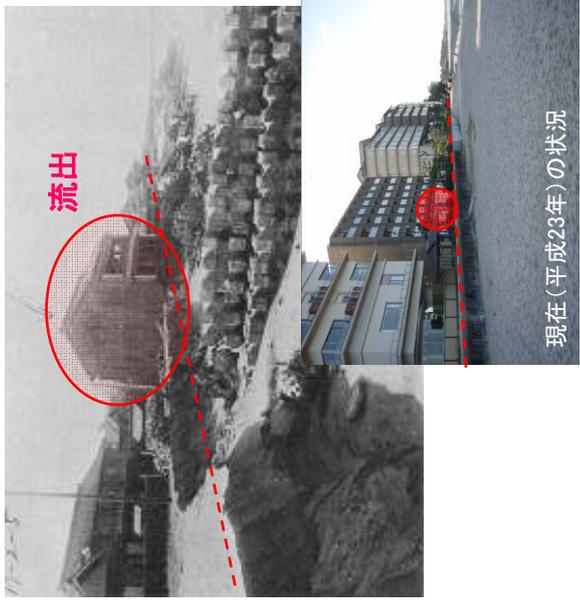
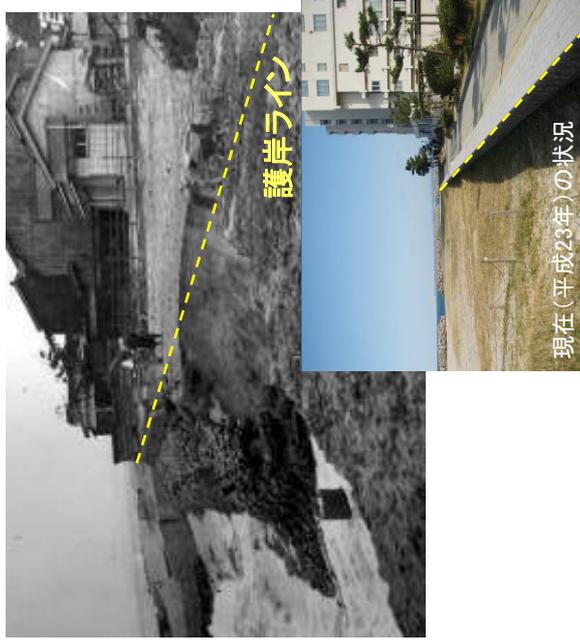
風前の灯火、旅館「清風荘」



◆皆生海岸の概要

5. 主要な災害の状況③

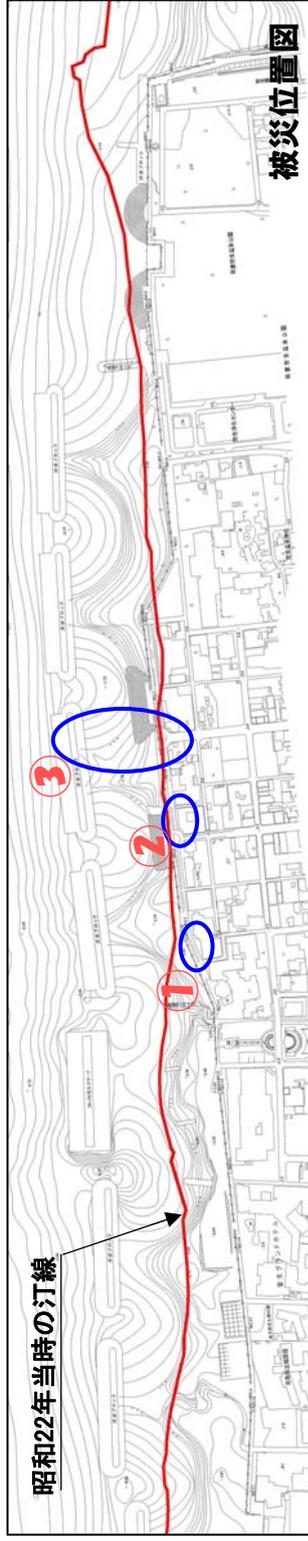
- 皆生海岸では、昭和初期から侵食による被害が発生しており、昭和35年4月には全国で最初の直轄海岸工事区域の指定を受け、以来、緩傾斜護岸などの海岸保全施設の整備を進めている。
- 皆生海岸では、「これ以上海岸線を侵食させない」という対策から「海岸線を前進させる」対策として、昭和46年から全国で最初の離岸堤工法を施工し、砂浜を前進させることに成功している。



①旅館に迫る侵食（昭和30年月日不詳）

②波の犠牲になった金魚亭（昭和17年2月）

③前浜の侵食により波間に孤立する新1号源泉（昭和16年12月）



◆皆生海岸の概要

5. 主要な災害の状況④

■ 近年においても侵食被害や法先洗掘により被害が生じている。

①皆生地区・夜見地区被災

(平成10年9月16日)



①-1 皆生地区;強波浪による緩傾斜護岸の崩壊



①-1 皆生地区;越波状況
(平成10年9月)

②両三柳地区突堤被災(平成16年9月29日)



両三柳地区;吸出しによる突堤の陥没



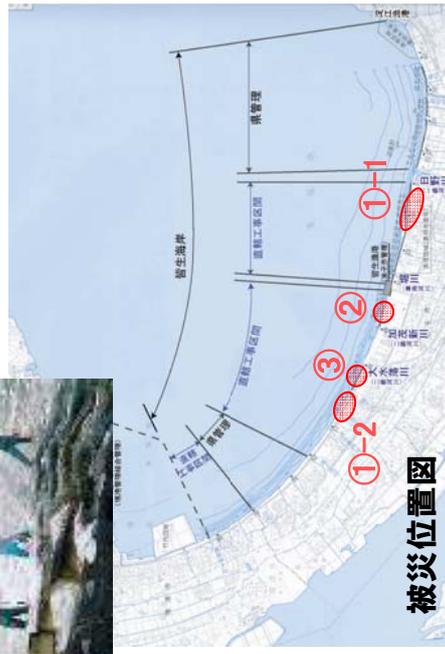
③夜見地区護岸被災(平成19年1月7日)



夜見地区;吸出しによる緩傾斜護岸の陥没



①-2 夜見地区;浜崖の発生



被災位置図

◆皆生海岸事業

1. 事業の方針

- 日野川上流におけるかなん流しの終焉により日野川からの流出土砂が減少し、海岸侵食が進行したため、鳥取県による護岸整備、突堤の建設が行われ、一時的に砂浜が回復したが、昭和30年に再び侵食被害を受けた。
- そのため、昭和35年に全国で初めて建設省（現国土交通省）の直轄工事をする区域として指定され、離岸堤、護岸等の侵食対策工事を進めている。
- 事業開始当初に整備された一部の施設では、**老朽化による機能低下・沖合侵食の進行が生じている。**
- 対策箇所では汀線安定化や侵食の進行を防止・軽減したが、**施設の無い箇所では侵食が進行している。**

<参考：これまでの経緯>

昭和35年度

直轄工事着手

- ▶ 直轄工事をする区域に指定され、離岸堤・護岸等の侵食対策工事に着手。
（直轄工事着手時は、緊急の対策が必要であったことから、施設整備の計画を立てておらず、総事業費も算出していない。）

平成10年度 事業評価

- ▶ 夜見・富益地区等が直轄工事区域に編入され、対策の完了した日吉津地区を鳥取県へ移管。
【主な整備内容】 離岸堤：20基、緩傾斜護岸：690m、離岸堤補強：12基、サンドリサイクル：302万m³、捕砂施設：1基 【総事業費】 200億円

平成15年度 事業再評価

- ▶ 社会的状況の変化、侵食形態の変化を受け、施設整備の計画を見直し。
【主な整備内容】 離岸堤：15基、緩傾斜護岸：640m、人工リーフ：5基、離岸堤補強：3基、施設改良：12基、サンドリサイクル：150万m³、捕砂施設：1基 【総事業費】 328億円

平成20年度 事業再評価

- ▶ 侵食域の拡大や社会的な状況の変化を受け、施設整備の計画を見直し。
【主な整備内容】 離岸堤：15基、緩傾斜護岸：720m、人工リーフ：8基、離岸堤補強：5基、施設改良：7基、サンドリサイクル：8千～3万m³/年 【総事業費】 315億円

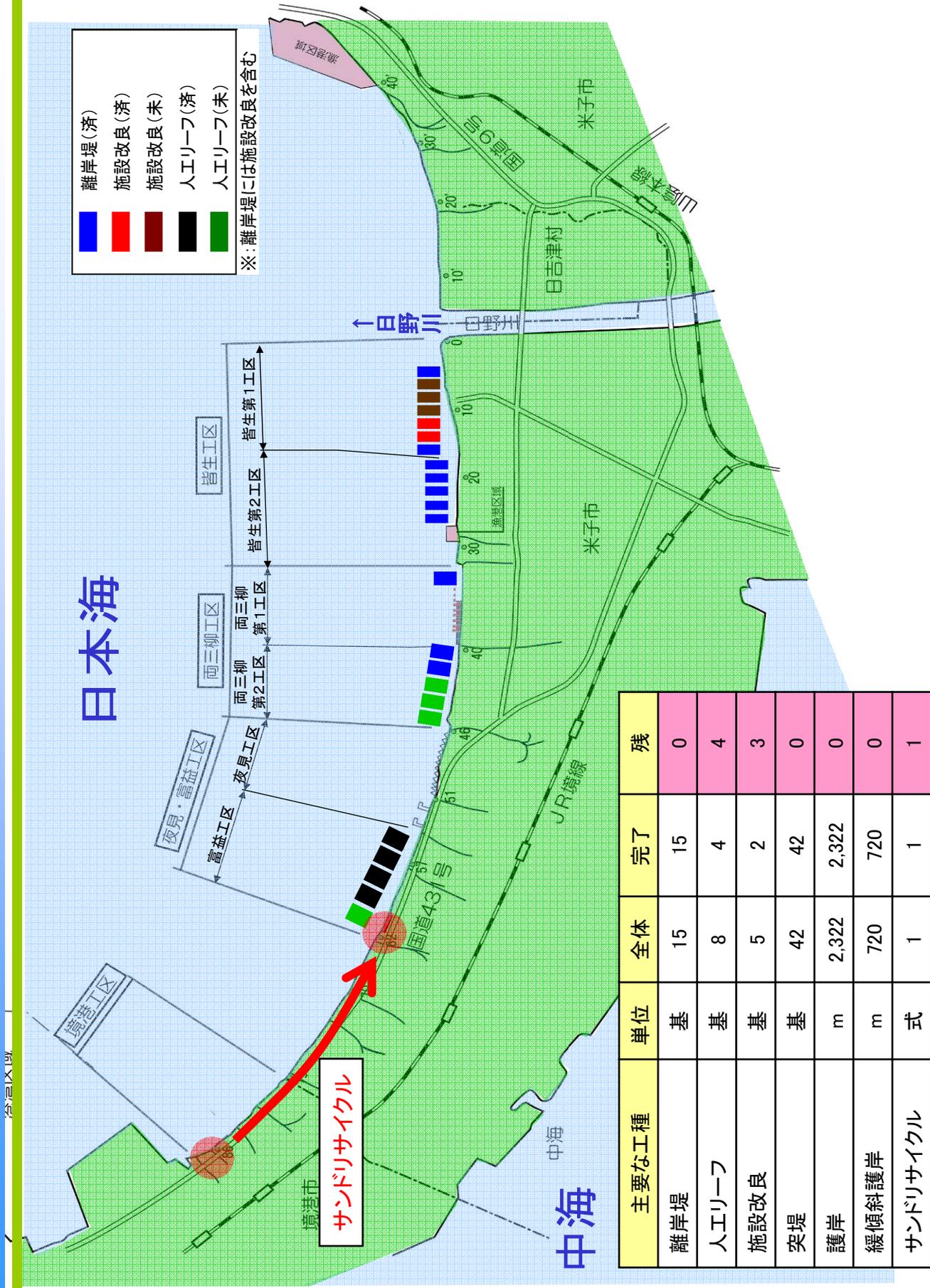
平成23年度 事業再評価

- ▶ 侵食域の拡大や社会的な状況の変化を受け、**施設整備の計画を見直し。**
【主な整備内容】 離岸堤：15基、緩傾斜護岸：720m、人工リーフ：8基、離岸堤補強：5基、**施設改良：5基**、サンドリサイクル：8千～3万m³/年 【総事業費】 **282億円**

<主な変更点>

- ・ 事業の予算推移の見直し
- ・ 皆生技術検討委員会で施設改良効果を検討し、整備数を2基減

◆ 皆生海岸事業

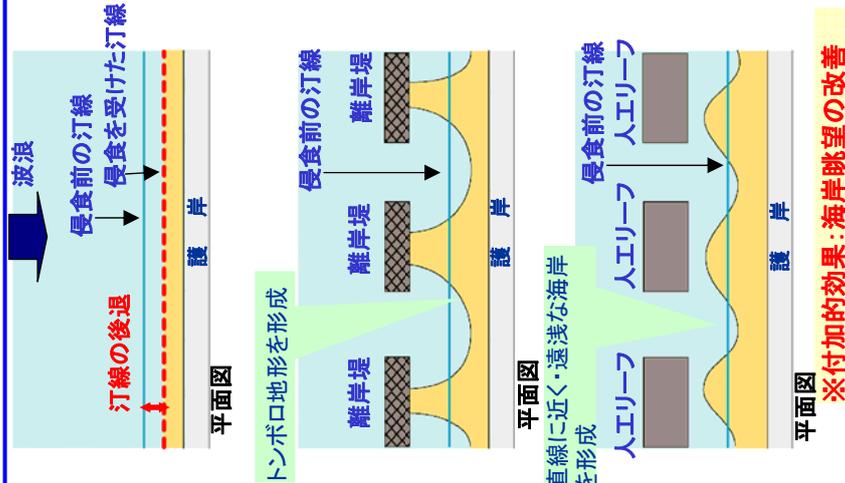
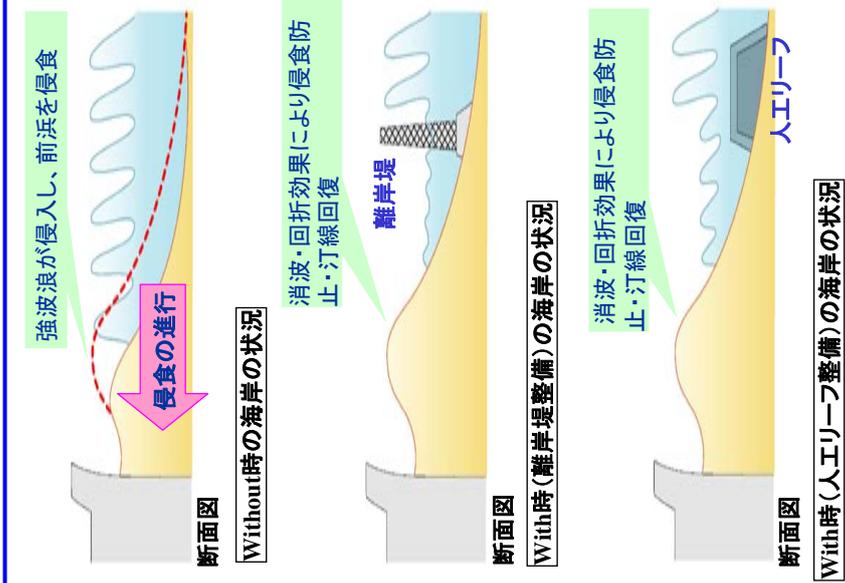
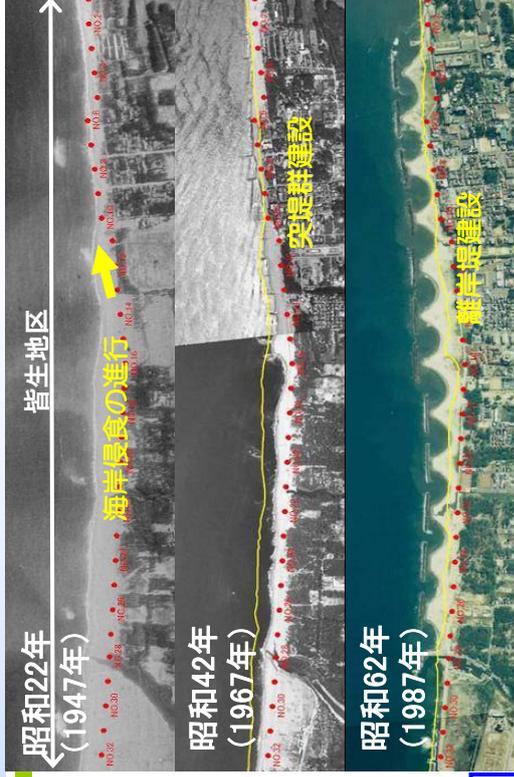


主要な工種	単位	全体	完了	残
離岸堤	基	15	15	0
人工リーフ	基	8	4	4
施設改良	基	5	2	3
突堤	基	42	42	0
護岸	m	2,322	2,322	0
緩傾斜護岸	m	720	720	0
サンドリサイクル	式	1	1	1

◆皆生海岸事業

2. 事業の内容① 施設の老朽化・沖合侵食への対応

- 事業開始当初に整備された施設では**老朽化・沖合侵食による機能低下**が生じた。
- 施設の老朽化対策として、既存離岸堤を人工リーフに施設改良を行う。
- 人工リーフ化に伴い、海浜地形の改善、および海岸眺望の改善が期待される。



皆生地区：離岸堤整備による砂浜の回復状況

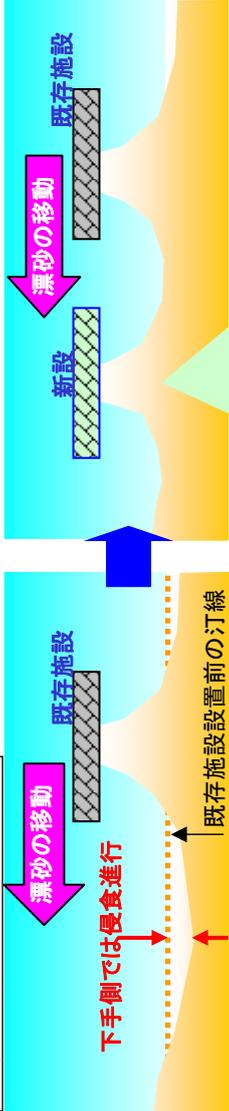


◆ 皆生海岸事業

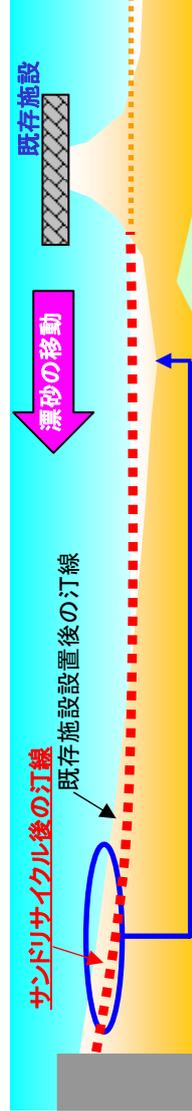
2. 事業の内容② 新たな侵食箇所への対応

- 施設の無い箇所の侵食対策として、人エリーフを新設する。
- 漂砂系の最下手の堆積土砂を侵食箇所へ投入し侵食を抑制する。

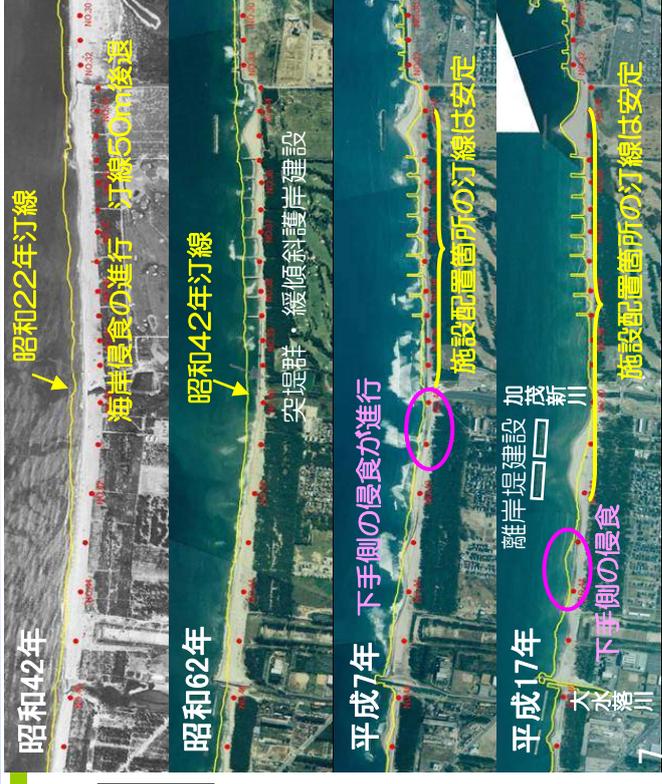
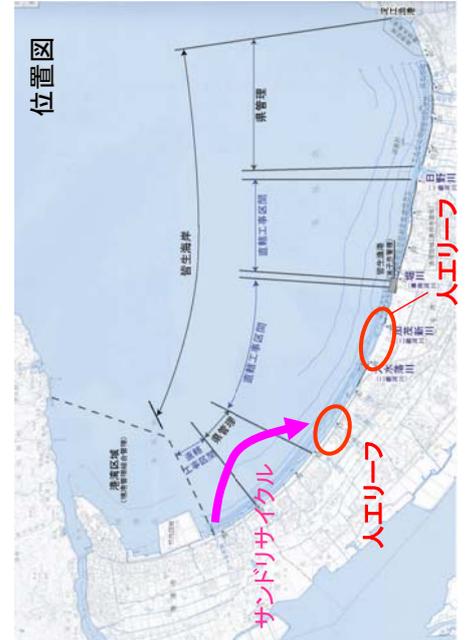
新規施設による侵食対策



サンドリサイクルによる下手側の侵食対策



漂砂系最下手側に堆積した土砂をリサイクルすることにより侵食を防止する。



両三柳地区：施設下手側の侵食の進行状況



沖合防護施設事業の概要



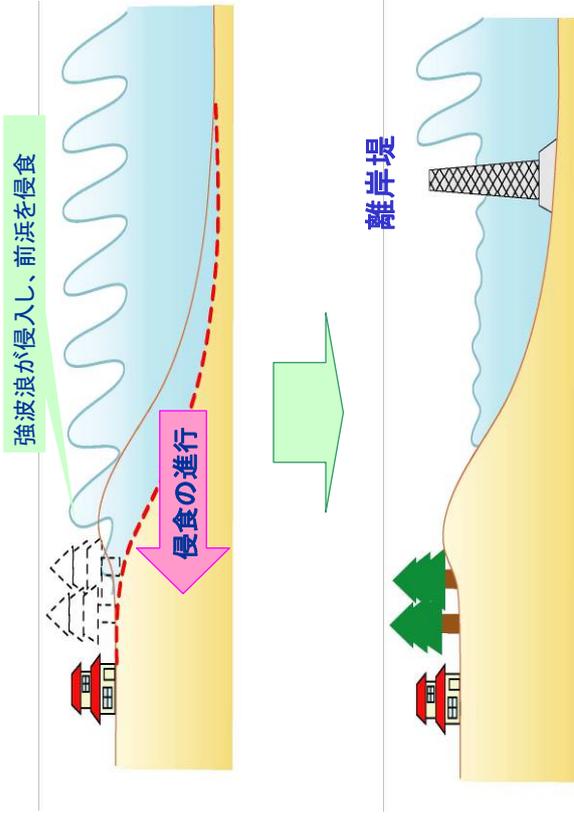
◆費用対効果分析

1. 対象とする効果

- 本事業による便益は、侵食防止便益、浸水防護便益を対象とする。

①侵食防止便益

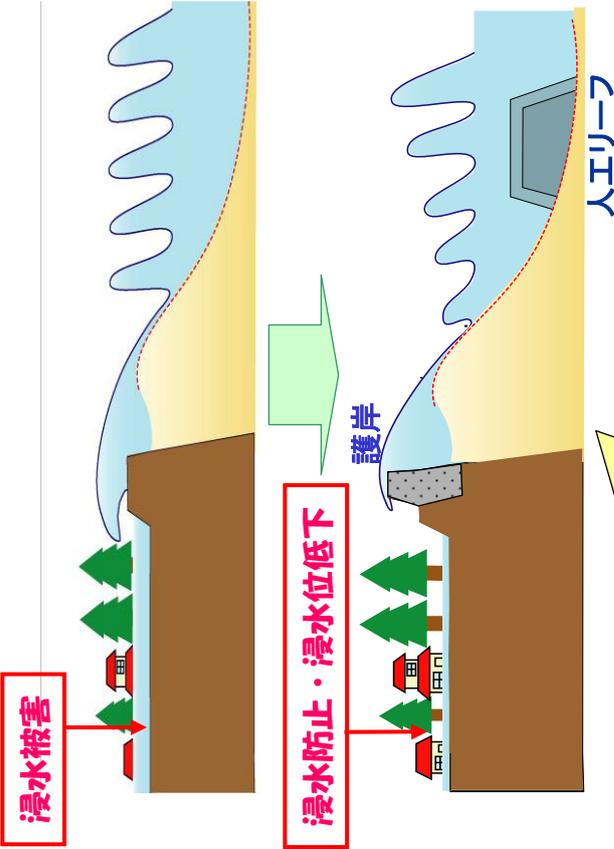
海岸侵食による土地消失や資産被害が防止・軽減されることによる便益。



離岸堤・突堤・人工リーフ等により前浜に侵入する波浪を抑制し、海岸侵食を防護する。

②浸水防護便益

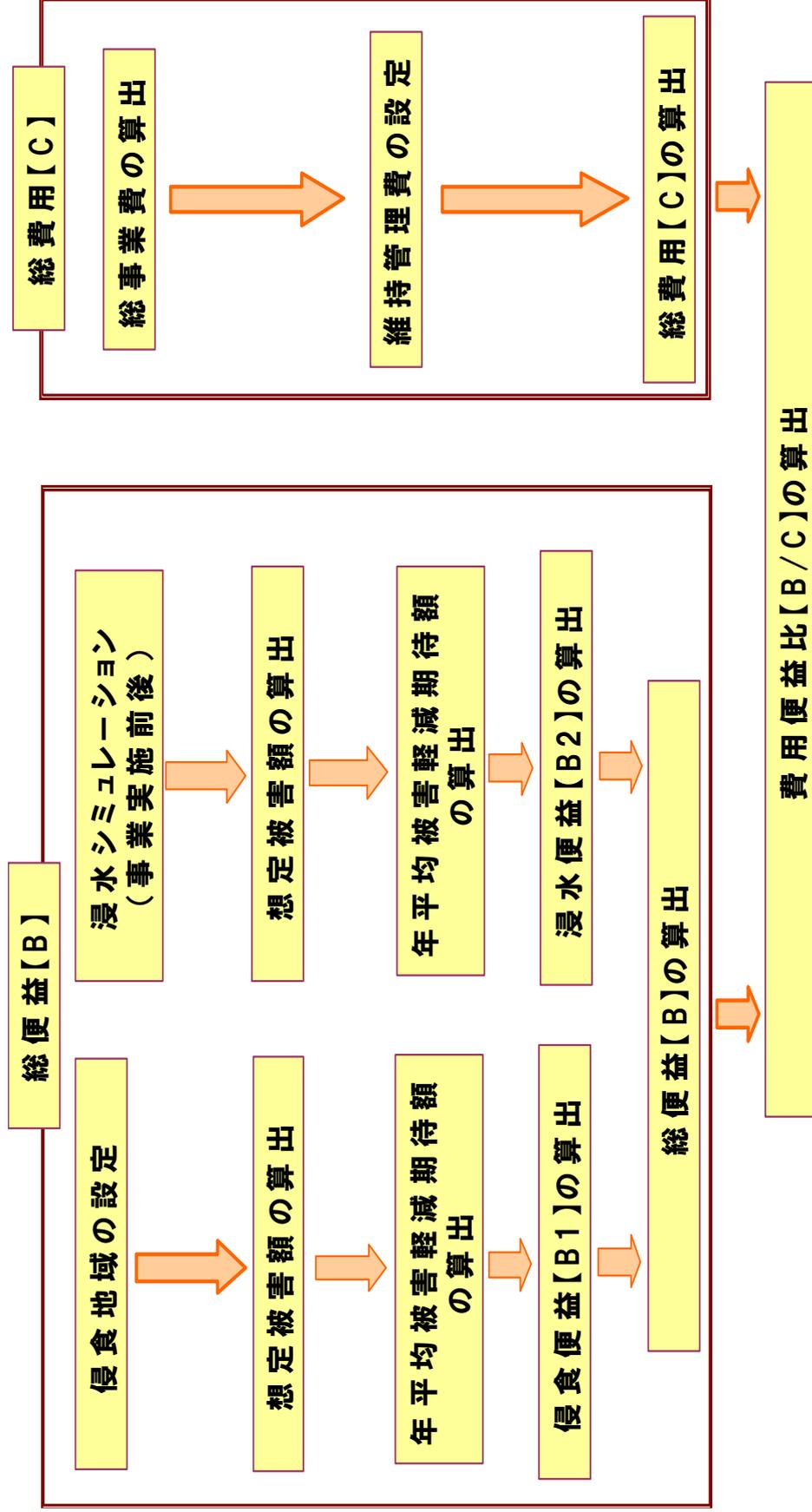
高潮、波浪等による浸水から背後地の資産等を守ることによる便益。



護岸・前浜の保全等により、背後地への越波・浸水を防護する。

◆費用対効果分析

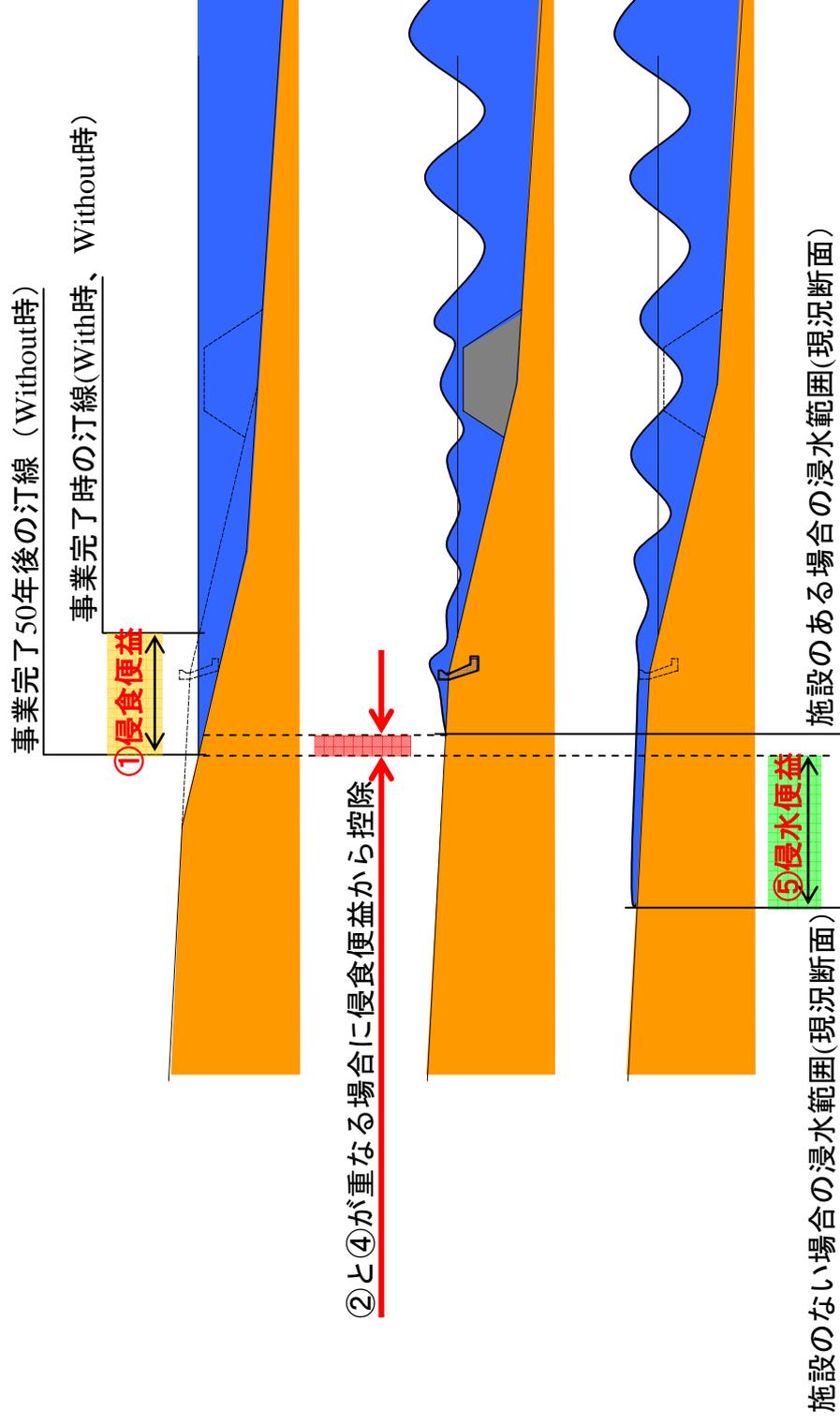
2. 費用対効果分析の流れ



◆費用対効果分析

3. 侵食便益と浸水便益の二重計上の回避方法

- ① 事業完了時の汀線と事業完了50年後の汀線の範囲の資産を**侵食便益**として算出
- ② 現況断面に対して海岸保全施設がある場合の浸水範囲の資産を算出
- ③ 現況断面に対して海岸保全施設がない場合の浸水範囲の資産を算出
- ④ ③から②を差し引いた範囲の資産を算出
- ⑤ ④の範囲に①の範囲が重なる場合は、重なった部分の資産を④から控除し**浸水便益**を算出



◆費用対効果分析

3. 侵食便益の年平均被害軽減期待額の算定方法

■ 事業着手時から評価対象期間の想定侵食地域の想定被害額を算定し、これにより年平均被害軽減期待額を算定する。

想定侵食速度の設定

事業着手前の基準横断測線(200m毎)の汀線後退量(S22→S37)をもとに、年平均侵食速度を設定

想定侵食地域の設定

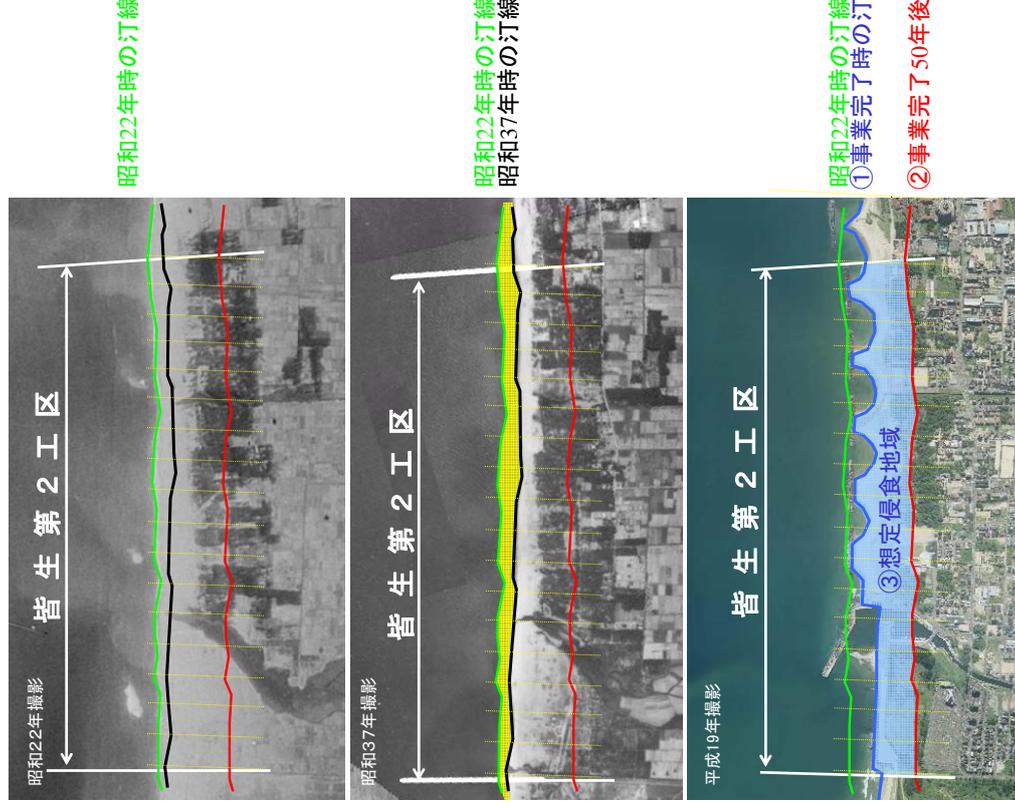
- ①: with時は、現在の汀線が維持される
- ②: Without時は、S22年の汀線から侵食が年平均侵食速度で事業完了50年後まで進む
- ③: ①と②の間を想定侵食地域

想定被害額の算出

③の範囲について土地価値、一般資産被害(家屋、事業所等)、公共土木施設、公益事業等被害を算定

年平均被害軽減期待額の算出

被害額をもとに、評価期間(事業完了後50年間)の年平均被害軽減期待額を算出

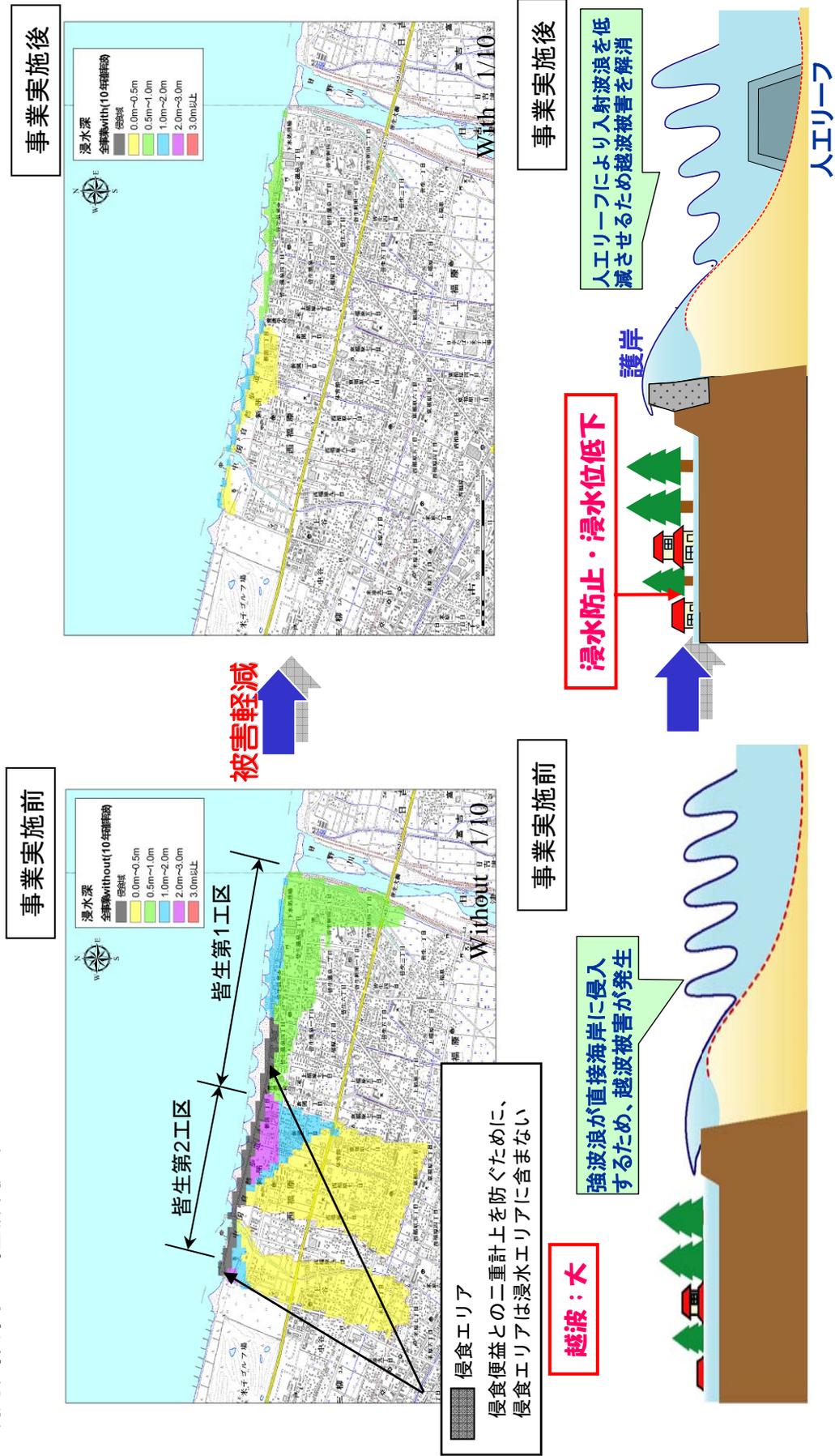


◆費用対効果分析

4. 浸水便益の年平均被害軽減期待額の算定方法①

■ 事業実施前後の浸水位をもとに、被害額を算定する。

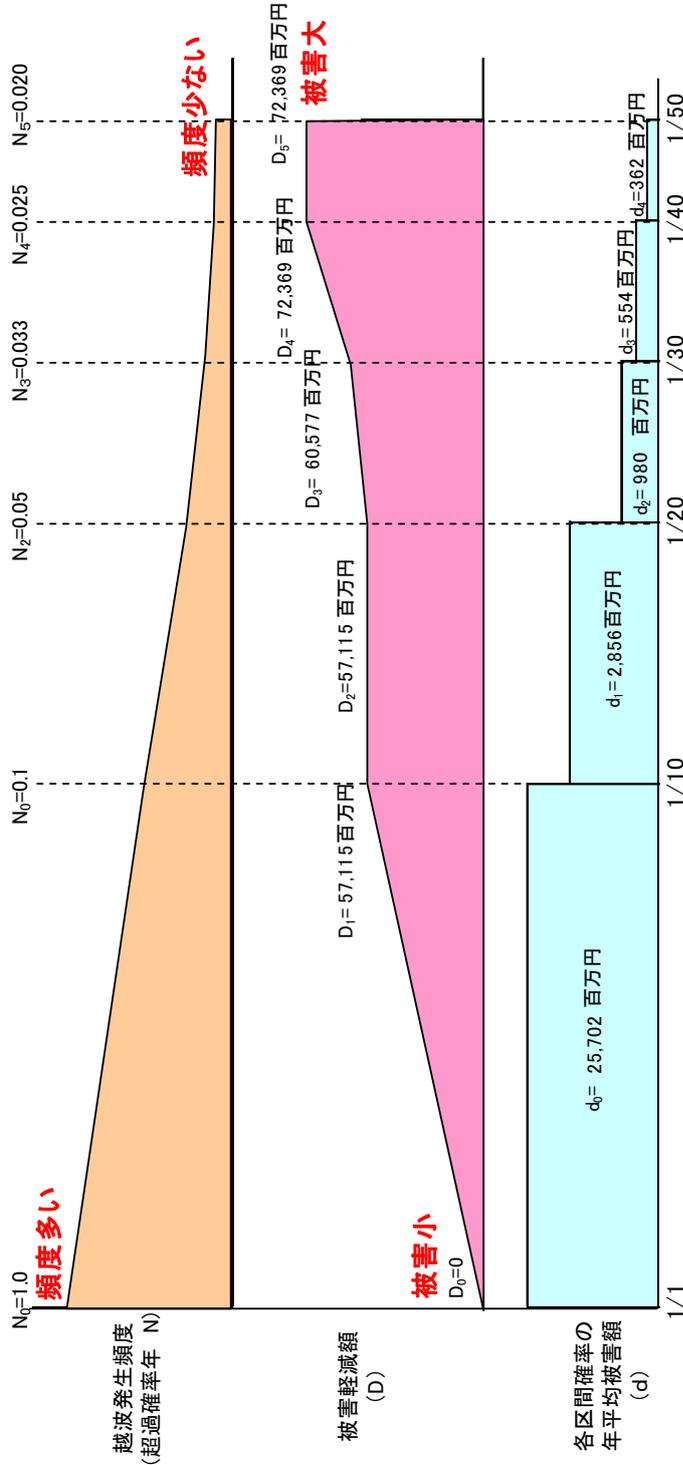
(例)被害の軽減状況



◆費用対効果分析

4. 浸水便益の年平均被害軽減期待額の算定方法②

■ 被害額に波浪・越波量の区間確率を乗じた確率規模別の年平均被害額を累計し算定する。



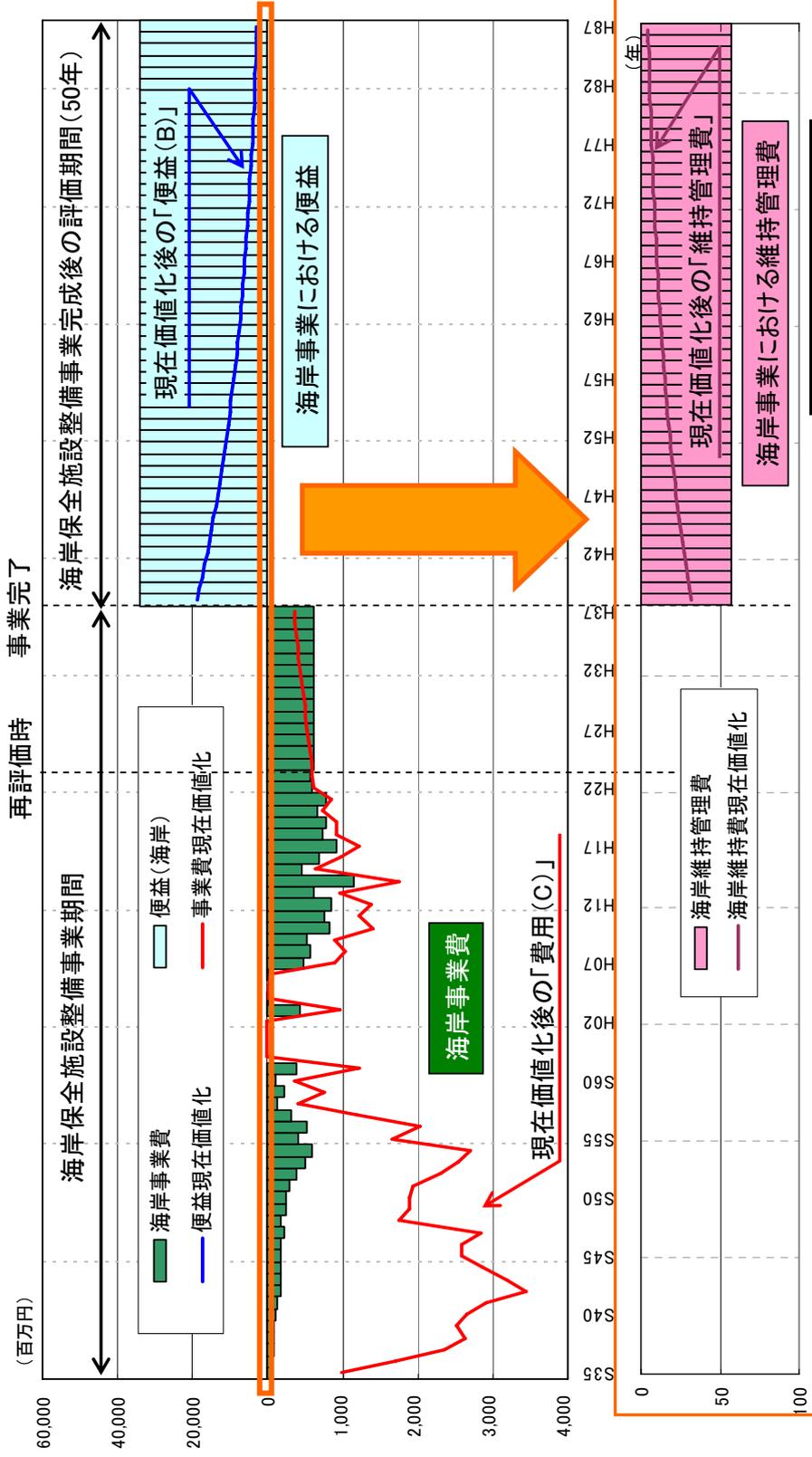
確率規模	年平均超過確率 (N)	被害額(百万円)			区間平均被害額④ (百万円)	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤ (百万円)	年平均被害額の累計 = 年平均被害軽減期待額 (百万円)
		事業を実施しない場合①	事業を実施した場合②	被害軽減額 ③=①-② (D)				
1/1	1.0000	0	0	0	28,558	0.90000	25,702	25,702
1/10	0.1000	61,153	4,038	57,115	57,115	0.05000	2,856	28,558
1/20	0.0500	61,153	4,038	57,115	58,846	0.01667	980	29,538
1/30	0.0333	64,615	4,038	60,577	66,473	0.00833	554	30,092
1/40	0.0250	83,615	11,246	72,369	72,369	0.00500	362	30,454
1/50	0.0200	83,615	11,246	72,369	72,369	0.00500	362	30,454

◆費用対効果分析

5. 費用便益比の算出①

【便益の整理】: 算出した評価期間中に発現する便益を、社会的割引率(4%)で割り引いた上で集計

【費用の整理】: 既投資額についてはデフレータ及び社会的割引率(4%)をかけて現在価値化し、今後見込まれる事業費、維持管理費については社会的割引率(4%)によって割り引いた上で集計



維持費拡大図

◆費用対効果分析

5. 費用便益比の算出②

■ 費用便益比(B/C)は全体事業4.7、残事業が1.3である。

項 目	全体事業評価	残事業評価
侵食便益 (B1)	62億円	2億円
浸水便益 (B2)	3,778億円	91億円
総便益 (B=B1+B2)	3,840億円	93億円
建設費 (C1)	804億円	66億円
維持管理費 (C2)	7億円	7億円
総費用 (C=C1+C2)	811億円	73億円
費用便益比 ; B/C	4.7	1.3

◆費用対効果分析

(参考)感度分析

■ 参考として、工期と残事業費がそれぞれ1割増減したケースを想定し、費用便益比(B/C)の試算を行った。

全体事業	工期		
	一割減	最確値	一割増
残事業費	一割減	4.8	4.6
	最確値	4.7	4.6
	一割増	4.7	4.5

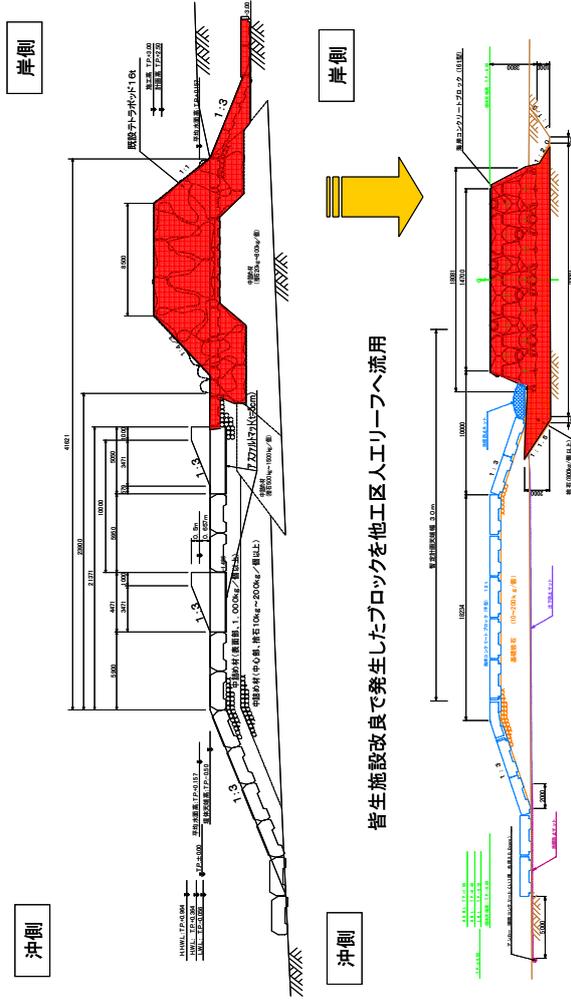
残事業	工期		
	一割減	最確値	一割増
残事業費	一割減	1.4	1.4
	最確値	1.3	1.3
	一割増	1.2	1.1

※ 「海岸事業の費用便益分析指針(改訂版)平成16年6月」には、感度分析の実施方法について具体的な記載はない。

◆その他

1. コスト縮減対策

■ 皆生地区における既設離岸堤の一部を、両三柳地区、富益地区の人工リーフへの材料に活用する。



■ 海岸保全施設を整備し侵食を防護することで、サンドリサイクル運搬量の軽減を図る。

■ 今後は、浚渫などの他事業との連携を図り、浚渫土の有効活用とサンドリサイクルによるコスト縮減を図る。



◆その他

2. 事業による副次的な効果

防護



▲年間約45万人が利用する皆生温泉街を
侵食・浸水被害から守っている。

侵食・浸水被害を受ける
宿泊施設への被害→観光客数の減

環境



水面からの突出が低く視界が良好に
なる。
また、遠浅な地形が形成されるため、
利用しやすい。



←
水面から3m以上突き出しており、視
界を阻害している。
また、急勾配な地形のため利用しづら
い。



▲遠浅な地形を利用してシーカヤックの体験イベント
(1基目の人工リーフ前を発着：平成17年～)

▲離岸堤を人工リーフ化することで景観が改善され、
アンケートの結果では「景観がよくなると訪れる回数
が増える」の回答を3割得ている。

◆その他

2. 事業による副次的な効果

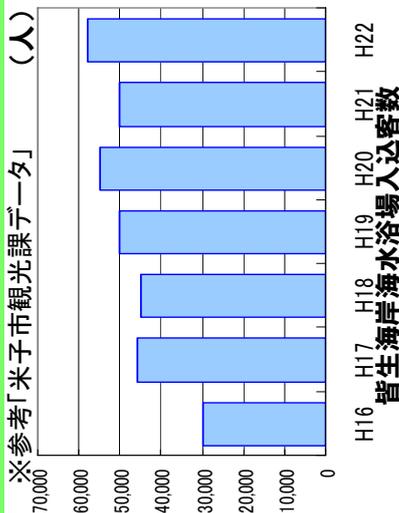
利用



▲皆生温泉と併設した皆生海水浴
(昭和53年に整備)年間約5万人が利用



▲皆生トライアスロン(昭和56年～)
全国、海外からの個人800名、団体50チームが参加
(皆生海岸がスタート)



▲砂浜を維持することにより、様々な利用がなされている。

砂浜が無くなる→利用者が減

地域の協力



▲海開きの前に毎年清掃を実施(小中学校、各種団体・企業)

PPPへの取り組み

民間事業による海岸の維持管理に関する取り組みを進める。



- ・海岸でのイベントで得た利益を海岸事業へ還元
- ・民間事業者が海岸を利用して利益を得るために簡易な海岸の維持管理受け持つ

今後の対応方針(原案)

1. 再評価の視点

①事業の必要性の視点

1) 事業を巡る社会情勢等の変化

◇米子市の世帯数は増加しているが人口は横ばい状態である。特に背後地の両三柳地区、河崎地区では住宅化が進んでいる。
◇皆生海岸の海水浴客は、毎年約5万人が利用しており、近年増加傾向にある。

2) 事業の投資効果

◇費用便益(H23年時点) 全体事業(B/C)=4.7、残事業(B/C)=1.3

3) 事業の進捗状況

◇総事業費 282億円(税込み)、平成23年までの事業費 191億円(税込み) 残事業費 91億円 (進捗率 約68%)

②事業の進捗見込み

◇現在までの進捗率は約68%であり、これまでの整備により砂浜が復元され、侵食被害の防止、浸水被害の軽減、観光地域の活性化等の効果が得られている。今後も、地域からの侵食からの対策、景観改善の要望が強いことから、関係機関並びに地元と合意形成を図りながら、引き続き事業を実施していく。

③コスト縮減や代替案立案等の可能性

◇沖合侵食の進む海岸利用客が多い皆生地区では景観に配慮した施設への要望が強い。また、両三柳地区、富益地区では、依然厳しい自然条件下におかれ侵食が進んでいる地区であり、施設整備の要望は強い。
◇皆生地区の既存離岸堤の一部を、両三柳地区、富益地区の人工リーフの材料への活用、他施設、他事業、地域との連携よりサンドリサイクル等コスト縮減に努める。

2. 県への意見照会結果

◇継続とする対応方針(原案)については異存ありません。

【今後の対応方針(原案)】

・上記①、②の各視点により、災害発生時の防護機能や景観等の観点から皆生海岸保全施設整備事業は、**継続が妥当**。
・今後の事業の実施にあたっては、地域と連携を深め、施設整備や維持管理に要する費用について更なるコスト縮減に努力しつつ、効果的で効果的な事業を継続する。

◆前回評価時との比較

	時 点		備 考 (前回評価時からの変更点)
	前回再評価時 (平成20年)	今回再評価時 (平成23年)	
事業諸元	L=10,220m	同左	
事業期間	昭和35年～	同左	
総事業費	315億円	282億円	・計画の見直し ・施設改良(7基→5基)等
総費用(C)	320億円	811億円	・計画の見直し ・施設改良(7基→5基)等 ・社会的割引率を過去に対して考慮 ・維持管理費用の見直し
総便益(B)	4,368億円	3,840億円	・資産データの更新 ・事業所統計データ(H13→H18) ・公示地価・基準地価(H19→H22)など ・検討メッシュの精度を変更(100m角メッシュ→50m角メッシュ)
費用対効果 (B/C)	13.7	4.7	

皆生海岸直轄海岸保全施設整備事業
〔費用便益比（B／C）算定等資料〕

様式一2
● 侵食被害

海岸名	防護面積		一般資産等基礎数量							一般資産等被害額					備考				
	千m2	1,088	家屋	戸	事業所	宅地	農地	林地	砂浜	道路	家屋+ 事務所	宅地	農地	林地		砂浜	道路	合計	
																		百万円	百万円
皆生海岸	49	7	33	0	543	276	236	5,556	1,287	0	201	2,814	5,182	15,041	10,168	150年後			

● 浸水被害

○ 資産子一々

海岸名	防護面積	一般資産等基礎数量							一般資産等資産額							農作物資産			備考	
		ha	人口	世帯数	戸	事業所数	農漁家数	水田面積	畑面積	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物		小計
												償却	在庫	償却	在庫					
皆生海岸	354	12,507	4,433	547	5,155	270	587	65,862	66,257	14,636	6,470	262	61	153,548	30	226	256	280,992	1/10	
皆生海岸	354	12,507	4,433	547	5,155	270	587	65,862	66,257	14,636	6,470	262	61	153,548	30	226	256	280,992	1/20	
皆生海岸	354	12,507	4,433	547	5,155	270	587	65,862	66,257	14,636	6,470	262	61	153,548	30	226	256	280,992	1/30	
皆生海岸	370	13,881	4,935	553	5,216	307	579	72,235	73,768	14,580	6,707	281	66	167,637	35	223	257	306,776	1/40	
皆生海岸	370	13,881	4,935	553	5,216	307	579	72,235	73,768	14,580	6,707	281	66	167,637	35	223	257	306,776	1/50	

被害子一々

海岸名	一般資産等被害額							農作物被害				備考		
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物	小計	合計			
			償却	在庫	償却	在庫							百万円	百万円
皆生海岸	6,511	9,077	3,406	1,078	14	6	20,092	30	226	256	36,164	603	57,115	1/10
皆生海岸	6,511	9,077	3,406	1,078	14	6	20,092	30	226	256	36,164	603	57,115	1/20
皆生海岸	6,988	9,723	3,475	1,109	15	6	21,316	30	226	256	38,366	639	60,577	1/30
皆生海岸	7,714	12,454	4,072	1,219	15	7	25,481	34	223	257	45,866	765	72,369	1/40
皆生海岸	7,714	12,454	4,072	1,219	15	7	25,481	34	223	257	45,866	765	72,369	1/50

様式-3 被害額（事業実施前） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/1

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円		
皆生1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皆生2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
両三柳2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3 被害額（事業実施前） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/10

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	1,959	3,059	1,034	159	4	2	6,217	3	4	7	11,191	187	17,602
皆生2	3,436	4,948	1,971	628	3	1	10,987	17	35	52	19,776	330	31,145
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	203	81	39	15	0	0	338	0	0	0	609	10	957
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	1,443	1,481	664	377	8	3	3,976	11	187	198	7,156	119	11,449
合計	7,041	9,569	3,708	1,179	15	6	21,518	31	226	257	38,732	646	61,153

様式-3 被害額（事業実施前） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/20

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	1,959	3,059	1,034	159	4	2	6,217	3	4	7	11,191	187	17,602
皆生2	3,436	4,948	1,971	628	3	1	10,987	17	35	52	19,776	330	31,145
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	203	81	39	15	0	0	338	0	0	0	609	10	957
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	1,443	1,481	664	377	8	3	3,976	11	187	198	7,156	119	11,449
合計	7,041	9,569	3,708	1,179	15	6	21,518	31	226	257	38,732	646	61,153

様式-3 被害額（事業実施前） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/30

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	1,959	3,059	1,034	159	4	2	6,217	3	4	7	11,191	187	17,602
皆生2	3,436	4,948	1,971	628	3	1	10,987	17	35	52	19,776	330	31,145
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	680	727	108	46	1	0	1,562	0	0	0	2,811	46	4,419
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	1,443	1,481	664	377	8	3	3,976	11	187	198	7,156	119	11,449
合計	7,518	10,215	3,777	1,210	16	6	22,742	31	226	257	40,934	682	64,615

様式-3 被害額（事業実施前） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/40

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	3,517	6,937	2,115	349	6	3	12,927	10	5	15	23,271	389	36,602
皆生2	3,436	4,948	1,971	628	3	1	10,987	17	35	52	19,776	330	31,145
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	680	727	108	46	1	0	1,562	0	0	0	2,811	46	4,419
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	1,443	1,481	664	377	8	3	3,976	11	187	198	7,156	119	11,449
合計	9,076	14,093	4,858	1,400	18	7	29,452	38	227	265	53,014	884	83,615

様式-3 被害額（事業実施前） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/50

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	3,517	6,937	2,115	349	6	3	12,927	10	5	15	23,271	389	36,602
皆生2	3,436	4,948	1,971	628	3	1	10,987	17	35	52	19,776	330	31,145
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	680	727	108	46	1	0	1,562	0	0	0	2,811	46	4,419
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	1,443	1,481	664	377	8	3	3,976	11	187	198	7,156	119	11,449
合計	9,076	14,093	4,858	1,400	18	7	29,452	38	227	265	53,014	884	83,615

様式-3 被害額（事業実施後） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/1

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
皆生2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
両三柳2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
富益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

様式-3 被害額（事業実施後） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/10

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	206	287	108	14	0	0	615	0	0	0	1,107	19	1,741
皆生2	113	84	56	13	0	0	266	0	0	0	479	8	753
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	211	121	138	74	1	0	545	1	0	1	982	16	1,544
合計	530	492	302	101	1	0	1,426	1.0	0.0	1	2,568	43	4,038

様式-3 被害額（事業実施後） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/20

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	206	287	108	14	0	0	615	0	0	0	1,107	19	1,741
皆生2	113	84	56	13	0	0	266	0	0	0	479	8	753
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	211	121	138	74	1	0	545	1	0	1	982	16	1,544
合計	530	492	302	101	1	0	1,426	1.0	0.0	1	2,568	43	4,038

様式-3 被害額（事業実施後） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/30

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	206	287	108	14	0	0	615	0	0	0	1,107	19	1,741
皆生2	113	84	56	13	0	0	266	0	0	0	479	8	753
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	211	121	138	74	1	0	545	1	0	1	982	16	1,544
合計	530	492	302	101	1	0	1,426	1.0	0.0	1	2,568	43	4,038

様式-3 被害額（事業実施後） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/40

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	789	995	501	68	1	0	2,354	3	4	7	4,237	71	6,669
皆生2	362	523	147	39	1	0	1,072	0	0	0	1,929	32	3,033
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	211	121	138	74	1	0	545	1	0	1	982	16	1,544
合計	1,362	1,639	786	181	3	0	3,971	4.0	4.0	8	7,148	119	11,246

様式-3 被害額（事業実施後） 海岸名：皆生海岸 流量規模：1/50

氾濫ブロック	一般資産被害額						農作物被害額			公共土木施設等被害額	公共事業等被害額	合計	備考
	家屋	家庭用品	事業所資産		農漁家資産		小計	水稻	畑作物				
			償却	在庫	償却	在庫							
百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円	
皆生1	789	995	501	68	1	0	2,354	3	4	7	4,237	71	6,669
皆生2	362	523	147	39	1	0	1,072	0	0	0	1,929	32	3,033
両三柳1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
両三柳2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
夜見	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
富益	211	121	138	74	1	0	545	1	0	1	982	16	1,544
合計	1,362	1,639	786	181	3	0	3,971	4.0	4.0	8	7,148	119	11,246

様式一4 年平均被害軽減期待額 海岸名：皆生海岸

単位：百万円

流量規模	超過確率	被害額			区間平均被害額 ④	区間確率 ⑤	年平均被害額 ④×⑤	年平均被害額の累計 =年平均被害軽減額	備考
		事業を実施しない場合 ①	事業を実施した場合 ②	軽減額 ③=①-②					
1/1	1.00000	0	0	0	—	—	—	0	
1/10	0.10000	61,153	4,038	57,115	28,558	0.90000	25,702	25,702	
1/20	0.05000	61,153	4,038	57,115	57,115	0.05000	2,856	28,558	
1/30	0.03333	64,615	4,038	60,577	58,846	0.01667	980	29,538	
1/40	0.02500	83,615	11,246	72,369	66,473	0.00833	554	30,092	
1/50	0.02000	83,615	11,246	72,369	72,369	0.00500	362	30,454	

様式-5 費用対効果

(百万円)

年次	t	便益					費用					費用便益比 B/C	純現在価値 B-C		
		優食①		浸水②		①+②		建設費①		維持管理費②				①+②	
		便益	現在価値	便益	現在価値	便益	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値	費用	現在価値		
-51	S35							25	994			25	994		
-50	S36							50	1,708			50	1,708		
-49	S37							75	2,363			75	2,363		
-48	S38							90	2,636			90	2,636		
-47	S39							93	2,507			93	2,507		
-46	S40							106	2,666			106	2,666		
-45	S41							130	2,913			130	2,913		
-44	S42							172	3,435			172	3,435		
-43	S43							170	3,184			170	3,184		
-42	S44							170	2,863			170	2,863		
-41	S45							170	2,590			170	2,590		
-40	S46							180	2,580			180	2,580		
-39	S47							219	2,830			219	2,830		
-38	S48							179	1,745			179	1,745		
-37	S49							245	1,899			245	1,899		
-36	S50							256	1,884			256	1,884		
-35	S51							289	1,928			289	1,928		
-34	S52							388	2,311			388	2,311		
-33	S53							489	2,532			489	2,532		
-32	S54							595	2,707			595	2,707		
-31	S55							417	1,654			417	1,654		
-30	S56							533	2,023			533	2,023		
-29	S57							326	1,187			326	1,187		
-28	S58							119	417			119	417		
-27	S59							225	755			225	755		
-26	S60							111	363			111	363		
-25	S61							375	1,212			375	1,212		
-24	S62							0	0			0	0		
-23	S63							0	0			0	0		
-22	H01							0	0			0	0		
-21	H02							0	0			0	0		
-20	H03							420	956			420	956		
-19	H04							4	8			4	8		
-18	H05							1	3			1	3		
-17	H06							18	36			18	36		
-16	H07							473	888			473	888		
-15	H08							569	1,029			569	1,029		
-14	H09							523	902			523	902		
-13	H10							832	1,405			832	1,405		
-12	H11							745	1,224			745	1,224		
-11	H12							857	1,374			857	1,374		
-10	H13							610	958			610	958		
-9	H14							1,146	1,751			1,146	1,751		
-8	H15							445	649			445	649		
-7	H16							684	953			684	953		
-6	H17							913	1,211			913	1,211		
-5	H18							732	922			732	922		
-4	H19							773	918			773	918		
-3	H20							656	726			656	726		
-2	H21							785	851			785	851		
-1	H22							595	619			595	619		
0	H23							577	577			577	577		
1	H24							620	596			620	596		
2	H25							620	573			620	573		
3	H26							620	551			620	551		
4	H27							620	530			620	530		
5	H28							620	510			620	510		
6	H29							620	490			620	490		
7	H30							620	471			620	471		
8	H31							620	453			620	453		
9	H32							620	436			620	436		
10	H33							620	419			620	419		
11	H34							620	403			620	403		
12	H35							620	387			620	387		
13	H36							620	372			620	372		
14	H37							620	358			620	358		
15	H38	504	280	30,454	16,910	30,958	17,190			57	32	57	32		
16	H39	504	269	30,454	16,260	30,958	16,529			57	31	57	31		
17	H40	504	259	30,454	15,634	30,958	15,893			57	29	57	29		
18	H41	504	249	30,454	15,033	30,958	15,282			57	28	57	28		
19	H42	504	239	30,454	14,455	30,958	14,694			57	27	57	27		
20	H43	504	230	30,454	13,899	30,958	14,129			57	26	57	26		
21	H44	504	221	30,454	13,364	30,958	13,586			57	25	57	25		
22	H45	504	213	30,454	12,850	30,958	13,063			57	24	57	24		
23	H46	504	205	30,454	12,356	30,958	12,561			57	23	57	23		
24	H47	504	197	30,454	11,881	30,958	12,077			57	22	57	22		
25	H48	504	189	30,454	11,424	30,958	11,613			57	21	57	21		
26	H49	504	182	30,454	10,984	30,958	11,166			57	21	57	21		
27	H50	504	175	30,454	10,562	30,958	10,737			57	20	57	20		
28	H51	504	168	30,454	10,156	30,958	10,324			57	19	57	19		
29	H52	504	162	30,454	9,765	30,958	9,927			57	18	57	18		
30	H53	504	155	30,454	9,390	30,958	9,545			57	18	57	18		
31	H54	504	149	30,454	9,028	30,958	9,178			57	17	57	17		
32	H55	504	144	30,454	8,681	30,958	8,825			57	16	57	16		
33	H56	504	138	30,454	8,347	30,958	8,485			57	16	57	16		
34	H57	504	133	30,454	8,026	30,958	8,159			57	15	57	15		
35	H58	504	128	30,454	7,718	30,958	7,845			57	15	57	15		
36	H59	504	123	30,454	7,421	30,958	7,544			57	14	57	14		
37	H60	504	118	30,454	7,135	30,958	7,253			57	13	57	13		
38	H61	504	114	30,454	6,861	30,958	6,974			57	13	57	13		
39	H62	504	109	30,454	6,597	30,958	6,706			57	12	57	12		
40	H63	504	105	30,454	6,343	30,958	6,448			57	12	57	12		
41	H64	504	101	30,454	6,099	30,958	6,200			57	11	57	11		
42	H65	504	97	30,454	5,865	30,958	5,962			57	11	57	11		
43	H66	504	93	30,454	5,639	30,958	5,732			57	11	57	11		
44	H67	504	90	30,454	5,422	30,958	5,512			57	10	57	10		
45	H68	504	86	30,454	5,214	30,958	5,300			57	10	57	10		
46	H69	504	83	30,454	5,013	30,958	5,096			57	9	57	9		
47	H70	504	80	30,454	4,820	30,958	4,900			57	9	57	9		
48	H71	504	77	30,454	4,635	30,958	4,712			57	9	57	9		
49	H72	504	74	30,454	4,457	30,958	4,530			57	8	57	8		
50	H73	504	71	30,454	4,285	30,958	4,356			57	8	57	8		
51	H74	504	68	30,454	4,120	30,958	4,189			57	8	57	8		
52	H75	504	66	30,454	3,962	30,958	4,028			57	7	57	7		
53	H76	504	63	30,454	3,810	30,958	3,873			57	7	57	7		
54	H77	504	61	30,454	3,663	30,958	3,724			57	7	57	7		
55	H78	504	58	30,454	3,522	30,958	3,580			57	7	57	7		
56	H79	504	56	30,454	3,387	30,958	3,443			57	6	57	6		
57	H80	504	54	30,454	3,256	30,958	3,310			57	6	57	6		
58	H81	504	52	30,454	3,131	30,958	3,183			57	6	57	6		
59	H82	504	50	30,454	3,011	30,958	3,061			57	6	57	6		
60	H83	504	48	30,454	2,895	30,958	2,943			57	5	57	5		
61	H84	504	46	30,454	2,784	30,958	2,830			57	5	57	5		
62	H85	504	44	30,454	2,677	30,958	2,721			57	5	57	5		
63	H86	504	43	30,454	2,574	30,958	2,616			57	5	57	5		
64	H87	504													

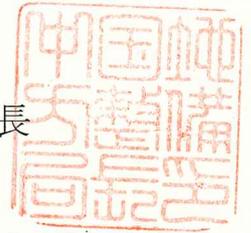
皆生海岸直轄海岸保全施設整備事業

〔鳥取県への意見照会と回答〕

国中整企画第52号
国中整港計第25号
平成23年8月11日

鳥取県知事 殿

中国地方整備局長



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る
対応方針(原案)の作成に係る意見照会について

貴職におかれましては、日頃から国土交通行政に対するご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、当地方整備局管内における直轄事業については、国土交通省所管公共事業の再評価実施要領（以下「実施要領」という。）に基づき、事業採択後一定期間が経過している事業等について、その効率性、実施過程の透明性を図るべく、中国地方整備局事業監視委員会（以下「委員会」という。）において、再評価に係る対応方針(原案)について審議しております。

このたび、平成23年9月6日（火）に委員会を開催することとなりましたので、実施要領に基づき、委員会に諮る対応方針(原案)の作成にあたり、平成23年8月25日（木）までに、別紙について貴職のご意見を承りたく依頼いたします。

※ご意見の送付・問い合わせ先

中国地方整備局 企画部 企画課

課長補佐 浜崎

教習係長 木本

電話：082-221-9231

FAX：082-227-2651

(別紙)

【海岸事業】

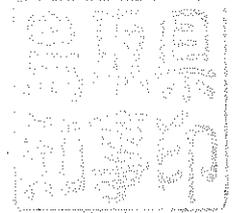
事業名	「対応方針(原案)」案※	備考
皆生海岸直轄海岸 保全施設整備事業	継続	

※貴県の意見を踏まえ、「中国地方整備局事業監視委員会」へ諮る
対応方針(原案)を作成するためのものです。

第 201100084980 号
平成 23 年 8 月 25 日

国土交通省中国地方整備局長 様

鳥取県知事



中国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の作成に係る
意見照会について(回答)

平成 23 年 8 月 11 日付国中整企画第 52 号及び国中整港計第 25 号で照会のあった皆生海岸直轄海岸保全施設整備事業の事業再評価に係る対応方針（原案）案については異存ありません。

皆生海岸は、白砂青松の景勝地であるとともに、海水浴や散策などに利用され住民や観光等の憩いの場となっております。

また、皆生トライアスロン等のイベントも開催され、隣接する皆生温泉には年間 45 万人の観光客が訪れている鳥取県有数の観光地となっております。

これまでに、海岸侵食により温泉施設や民家等への被害が発生しましたが、現在までに実施していただいた侵食対策事業により一部砂浜が復元されております。しかし、依然侵食が進んでいる地区もあり引き続き完成に向けより一層の御尽力をお願いします。併せて、事業の執行に際しては、できる限り経費の縮減を図られるようお願いいたします。

(担当 技術企画課 企画・技術調査担当 梅林、電話 0857-26-7410、ファクシミリ 0857-26-8189)

